

11 期卒業の井上正順さんがアメリカナショナルアカデミーの会員に選ばれる

6月の六甲学院ホームページで既に紹介されましたが此度11期の井上正順さんがアメリカの National Academy of Sciences(アメリカ科学アカデミー)の会員に推挙されました。National Academy of Sciences(NAS)とはアメリカの先端分野の研究者の中から、その学会誌での発表論文、授与された賞、研究課題等の卓越した研究成果から会員の推挙によって会員となります。最も権威があり、そのメンバーになることは科学者にとって最高の名誉と考えられています。井上さんはこのたびNAS会員になったことにたいし「32歳でアメリカに渡って52年になりますが、わたしの研究成果が52年の歳月を経て認められたことは喜ばしいことで、引き続き研究に専念しますが、後輩の方々にも励みになれば嬉しく思います」と喜びを語っています。

井上さんはバイオケミストリー、分子生物学の分野において、数々の新発見を導き出し、非常に独創的な科学者であります。特に彼のグループの1984年に発表した、人工的に操作して特別な遺伝子の現象を発見した論文は、後の2006年のA. ファイヤーとC.メローの「2本鎖RNAによる遺伝子発現抑制現象の発見」によるノーベル賞の根拠になった彼等の論文の14年もさかのぼるものでした。当時日本のマスミでは本年のノーベル賞の陰に日本人科学者ありと言われた井上さんです。

井上正順さんの経歴：

1934年(昭和9年)10月2日 旅順で生まれる。

1953年 六甲学院卒業後大阪大学に入学

1958年 大阪大学理工学部卒業、

1968年 大阪大学理学博士

1968-1971年 アメリカ、プリンストン大学研究助手

1971-1975年 アメリカ、ニューヨーク州立大学バイオケミストリー助教授

1975-1986年 同校分子微生物学部教授

1987年から現在 アメリカ、ニュージャージー州立大学医学部教授、

その間特別教授(Distinguished professor)に任命され現在に至る。

5.井上さん自身の気に入った写真



6.その他気の付いた諸々何でも

将来科学に興味を持つ現六甲学院生や卒業生のなかで前途への疑問があれば喜んで相談に応じます。メールアドレスは下記の通りです。

minouye@hotmail.com